

# ネギのべと病が多発しています

平成30年4月9日

JA山武郡市

3月下旬以降気温の上昇に伴い、ネギのべと病が多発しています。先週末の強風や降雨により、収穫を待つ春ネギや生育中の夏ネギでも蔓延する恐れがあるため、治療効果のある薬剤散布で病害の拡大を防ぎましょう。

## ネギのべと病に登録のある主な殺菌剤

べと病	薬剤名	効果	希釈倍率	使用時期	総使用回数
●	ランマンフロアブル	予防	2000倍	収穫3日前まで	4回以内
●	アミスター20フロアブル	予防・治療	2000倍	収穫3日前まで	4回以内
●	メジャーフロアブル	予防・治療	2000倍	収穫前日まで	3回以内
●	レーバフロアブル	予防・治療	2000倍	収穫7日前まで	2回以内
●	ジマンダイセン水和剤	予防	600倍	収穫14日前まで	マンゼブ 合計3回以内
●	テーク水和剤	予防・治療	600倍	収穫14日前まで	
●	ダコニール1000	予防	1000倍	収穫14日前まで	TPN 合計3回以内
●	プロポーズ顆粒水和剤	予防・治療	1000倍	収穫14日前まで	
●	フォリオゴールド	予防・治療	800~1000倍	収穫14日前まで	TPN・メタラキシル 合計3回以内
●	リドミルゴールドMZ	予防・治療	1000倍	収穫30日前まで	マンゼブ・ メタラキシル 合計3回以内



生育中の夏ネギ圃場で確認されたべと病斑。退緑した葉身上に灰白色のカビが付着している。(4/6撮影)。

農薬の使用にあたっては、ラベルをよく確認し、希釈倍数、使用時期、総使用回数に十分注意して下さい。